

# 指導士会の課題（提案）

2022/7/7 澤田

会則第2条 本会は、会員相互の親睦を図りながら、シルバーリハビリ体操(以下「体操」という)の実践と研修を通じて  
**体操の普及**に努め地域住民の**健康増進と介護予防**に寄与することを目的とする

**指導士が2019年をピークに減少傾向に**

**役員の選出が困難である**

**教室・サロンに指導士の適正配員が必要である**

新指導士の募集は市任せ（個人の声掛け程度） 退会指導士が増えることに無策

役員までやる気はない  
役員をするなら退会する

連絡責任者任せ  
指導士不足  
親しい者同士での助け合い  
人間関係に配慮

## 指導士増員化対策

- 新指導士を勧誘する
  - ・ポスターの作成
  - ・HPの活用
  - ・メール守谷の活用
  - ・個人が勧誘する
- 退会指導士を減らす
  - ・活動の環境整備
  - ・やりがい、思いやり
  - ・ベテランの活かし方
  - ・コミュニケーション

## 役員対策

- PC不要
- ・PCがなくても役員ができる
- ・経験不要

## 適正配置対策

- 支部に拘らない配員
  - ・適正配員人数を決める
  - ・2～3グループで助合う
  - ・支援グループの結成
  - ・新入会員の配置は組織で行う
- タブーにこだわらない
  - ・先輩のいたわり
  - ・OBの活用を検討する
  - ・マニュアルの作成

## 指導士会による表彰制度の制定

- シルバーリハビリ体操に貢献された方を表彰する

## 役員選定委員会の設置

## 小グループ活動の推進

- 親しく、楽しい時間を持ち、退会者の防止につなげる

指導士会事務所の設置  
専用PC 専用スマホ

指導士会を考える会の設置  
会長経験者他 会長/役員オブザーバー

OBのための体操教室の開設  
交流の継続 復帰への期待

賛助会員の定義の検討  
募集方法 活用方法の検討

